

福島県立医科大学附属病院
研修症例レポート作成について

研修医は、厚生労働省が定める到達目標に基づき、2年間の臨床研修修了までにレポートを作成、提出しなければなりません。

1. 各種レポートについて

(1) 経験すべき症状・病態・疾患についての症状レポート

以下の20症例について、症状を経験し、鑑別診断、検査、治療についてレポートを提出すること。

1	不眠	8	視力障害・視野狭窄	15	腹痛
2	浮腫	9	結膜の充血	16	便通異常（下痢・便秘）
3	リンパ節腫脹	10	胸痛	17	腰痛
4	発疹	11	動悸	18	四肢のしびれ
5	発熱	12	呼吸困難	19	血尿
6	頭痛	13	咳・痰	20	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
7	めまい	14	嘔気・嘔吐		

※1 「様式1」を使用して作成すること。

※2 「症状」の欄については、実際の症例名ではなく、上記20項目の中から選んで記載すること。

(2) 経験が求められる疾患・病態についての病歴要約

以下の10症例について、入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について、レポートを提出すること。

1	脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）
2	心不全
3	高血圧症（本態性、二次性高血圧症）
4	呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）
5	食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）
6	腎不全（急性・慢性腎不全、透析）
7	糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）
8	認知症（血管性認知症を含む。）
9	気分障害（うつ病、躁うつ病を含む。）
10	統合失調症（精神分裂病）

※ 「様式2」を使用して作成すること。

(3) 外科症例レポート

研修期間に手術に参加するか、術後管理を実際に行った症例について、1症例以上レポートを提出すること。

内容については、診断過程、検査結果の解釈、術後管理等の経過について記載すること。

※ 「様式3」を使用して作成すること。

(4) CPCレポート

CPC発表後、レポートを提出すること。病理医から指示のあった記載内容を網羅すること。

※ 「CPCレポート」様式を使用して作成すること。

◆◆◆レポート作成における共通留意事項 ◆◆◆

- ① 大学、協力病院いずれの研修においても、同一の様式で作成すること。
- ② 記名押印欄については、いずれも記載者名のみを記載し、指導医等その他の欄については空欄とすること。
- ③ 患者名、病院名等の個人情報記載しないこと。(A病院、B病院等の記載)
- ⑤ 具体的な年月は記載せず、X年、X-2年等の記載とすること。
- ⑥ 同一患者で複数の症例レポートを作成することも可とする。但し、必ず症例ごとにレポートを作成すること。

2. レポート様式について

「医療人育成・支援センター」ホームページ（「卒後臨床研修」⇒「セミナー資料・レポート様式等」）に様式が入っています。

<http://www.fmu.ac.jp/home/enzen/sotugo/training/material.html>

3. 提出期限及び提出先について

(1) 提出期限

必須症例を経験した診療科での研修終了後、原則2週間以内にはレポートを作成し、計画的に提出をすること。

最終提出期限は、2年次の2月15日までとする。

(2) 提出先

作成したレポートはプリントアウトし、すべて医療人育成・支援センターに提出すること。各自で指導医に承認依頼をした場合も、承認後は必ず提出すること。